

第1章 目指す子どもの姿

- 1 四日市市が進める教育の基本的な考え方
- 2 基本目標の達成状況

1 四日市市が進める教育の基本的な考え方

「輝く よっかいちの子ども」実現に向けて

子どもたちが将来生きていく社会は、多様で変化が激しく一層複雑化し、解決の道筋が明らかでない問題が多く存在すると予想されます。そのため、子ども自身が身に付けた知識・技能を実生活で応用するとともに、他者と協働しながら問題を解決していく主体的・能動的な能力としての「社会人になっても通用する問題解決能力」の養成が必要です。

また、教育活動全体を通して、子ども一人一人の実態や課題を踏まえ、豊かな人間性と感性を培うこと、さらに仲間づくりを進めるなかで、集団の中での協調性や他者を思いやる心を育むこと、個々の自主性・自立性を育てること、人権尊重の意識を醸成することが大切です。

本市では、「四日市市教育大綱」を定めるとともに、本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画として「第3次四日市市学校教育ビジョン」を策定し、「社会人になっても通用する問題解決能力」を身に付け、学校での学びを自分自身の人生の充実・幸せや将来の社会貢献につなげていく「輝く よっかいちの子ども」の育成を目指しています。

○四日市市教育大綱 ～5つの理念～

- 1 社会人になっても通用する問題解決能力の養成
- 2 豊かな人間性と健やかな体の育成
- 3 夢や志の実現に向け、自ら学び続ける意欲・態度の涵養
- 4 家庭、地域、学校・行政が連携・協働した教育の実現
- 5 都市の特長を生かした四日市ならではの教育の推進



○第3次四日市市学校教育ビジョン ～6つの基本目標～

- 「子どもにつけたい力」
- 基本目標 1. 確かな学力の定着
 - 基本目標 2. 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成
 - 基本目標 3. 健康・体力の向上
- 「子どもを支える学校づくり」
- 基本目標 4. 学校教育力の向上
 - 基本目標 5. 地域とともにある学校づくり
 - 基本目標 6. 四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進



四日市市の教育理念を実現するための基本的な考え方

目指す子どもの姿

輝く よっかいちの子ども

生きる力

子どもたちが、夢や志を持ち、学ぶことと社会とのつながりを意識しながら、自立した人間としてたくましく生き抜くための力

共に生きる力

多様性を尊重する心や豊かな人間関係を育むためのコミュニケーション能力などを身に付け、他者と協働し、共に未来を切り開いていく力

社会人になっても通用する問題解決能力

自身が身に付けた知識・技能を実生活で応用するとともに他者と協働しながら問題を解決していく主体的・能動的な能力

確かな学力

- ▶ 基礎的・基本的な知識及び技能
- ▶ 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力
- ▶ 学ぶことと社会とのつながりを意識しながら主体的に学習に取り組む意欲と態度

豊かな人間性とコミュニケーション能力

- ▶ 自律的に活動する力、規範意識
- ▶ 豊かな感性、優しさ、思いやり
- ▶ 多様性を尊重し、他者と協働しながら創造的に生きる態度
- ▶ ものごとを最後までやり遂げる粘り強さ
- ▶ 豊かな人間関係を育むためのコミュニケーション能力

健康・体力

- ▶ 生涯を通じて心身ともに健康でたくましく生きるための体力
- ▶ 運動やスポーツに親しむ気持ち、発達段階に応じた運動習慣
- ▶ 心と体を健やかに育む基本的な生活習慣の確立

学校教育力の向上

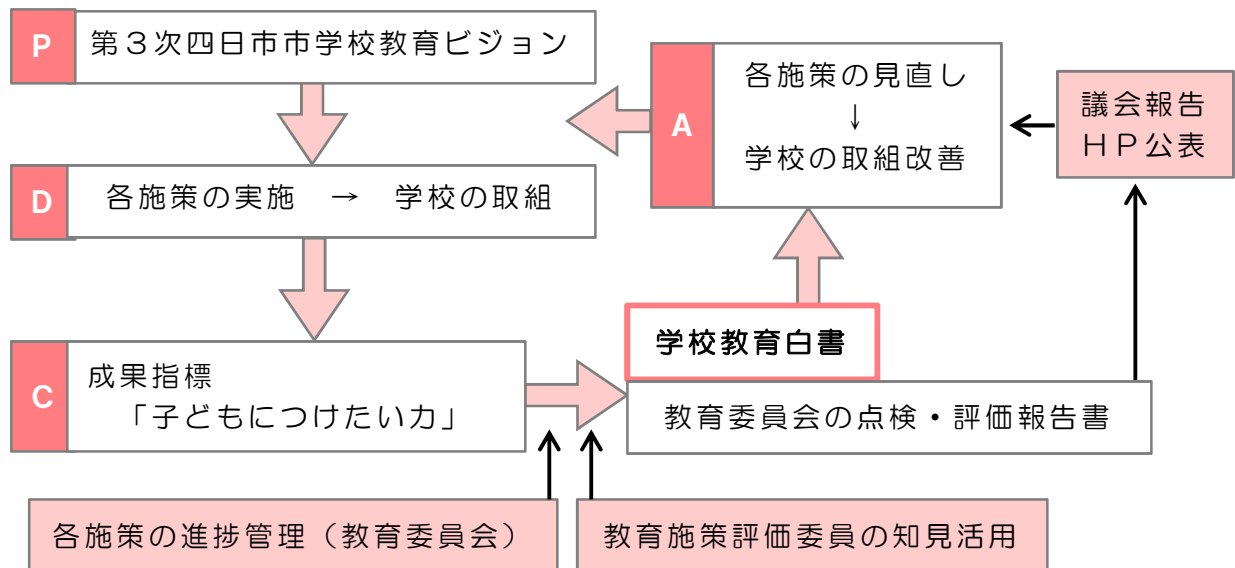
地域とともにある学校づくり

四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

■■■ 第1章 目指す子どもの姿
■■■ 1 四日市市が進める教育の基本的な考え方

本市では、目指す子どもの姿の実現のため、特に「子どもにつけたい力」基本目標1～3について、成果指標に基づく評価を実施しています。

また、基本目標の各教育施策については、具体的な取り組み指標に基づき、取り組みの進捗管理及び評価をしています。



本白書は、子どもたちの今のすがたや学校の取り組みの現状、今後のあるべき姿を表すとともに、教育委員会の点検・評価報告書の役割も担っています。

2 基本目標の達成状況

第3次学校教育ビジョンの「子どもにつけたい力」基本目標1～3について、成果指標に基づいた評価を実施します。

(1) 「基本目標1. 確かな学力の定着」の達成状況

① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着

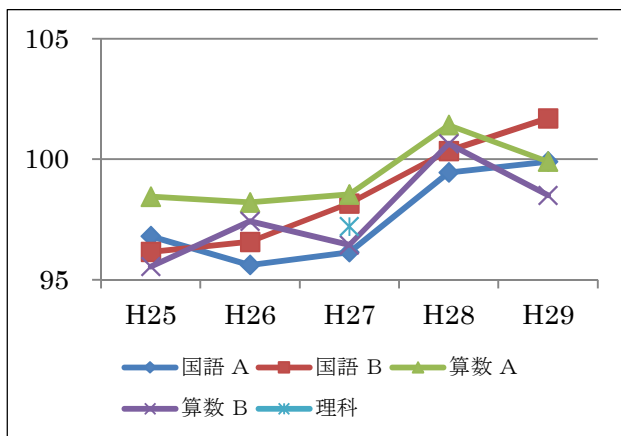
成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
①	全国学力・学習状況調査結果 (小6…国A、国B、算A、算B) (中3…国語、国B、数A、数B) 全国平均値を100としたときの 全科目の市平均値	小	97.4	100.5	100.0				102
		中	101.3	102.0	101.9				105

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

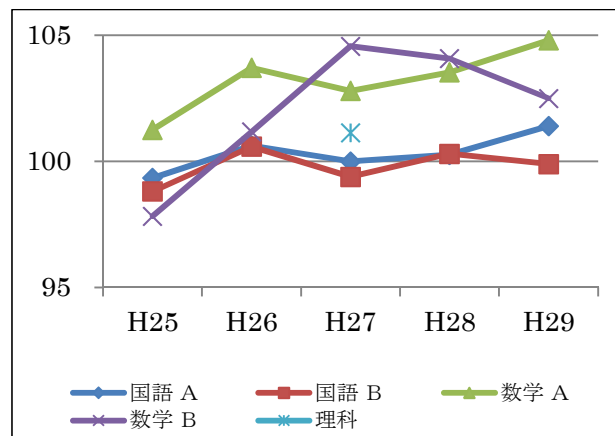
基礎的・基本的な知識及び技能の定着については、全国学力・学習状況調査結果における全国平均値を100としたときの全科目の市平均値を成果指標とし、小学校102、中学校105を目標値としています。

平成28年度に引き続き、平成29年度も、小学校・中学校ともに全科目の市平均値は100に届いています。100を下回った小学校の算数A・Bも2ポイント以内の差であり、平成21年度から取り組みを進めてきた「学力向上4つの取り組み」（P17参照）による成果として、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られていると言えます。

全国値を100としたときの本市結果の経年変化（平成25年度～平成29年度）



小学校



中学校

経年変化をみると、平成28年度以降、中学校だけでなく、小学校でも全国比で100を超える教科が出ており、改善傾向にあります。小学校でつけた力を、中学校でさらに伸ばすことで平成32年度の目標達成を目指します。

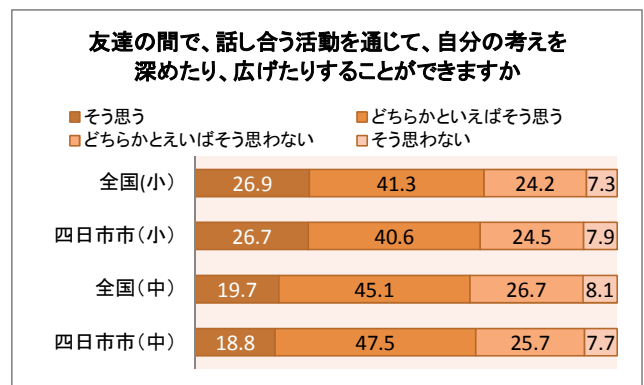
■ ■ ■ 第1章 目指す子どもの姿
 ■ ■ ■ 1 四日市市が進める教育の基本的な考え方

② 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
②	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合（％）	小	63.2 (全国 66.9)	67.9 (68.3)	67.3 (68.2)				80
		中	65.6 (全国 62.9)	67.0 (64.8)	66.3 (64.8)				80

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成においては、全国学力・学習状況調査の質問項目「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校、中学校とも 80%を目標値に設定しています。



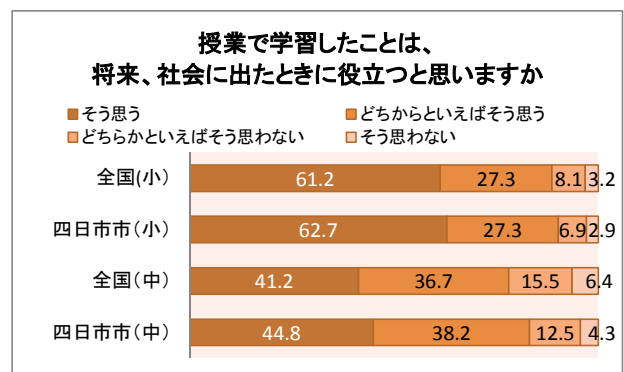
平成29年度は、小学校・中学校ともに、前年比でマイナスとなりました。児童生徒が言語活動を通じて思考を深め、広げられるような授業をより一層推進します。

③ 学ぶことと社会とのつながりを意識しながら主体的に学習に取り組む意欲と態度

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
③	「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合（％）	小	89.5 (全国 89.5)	91.4 (89.6)	90.0 (88.5)				95
		中	79.3 (全国 78.4)	81.3 (78.1)	83.0 (77.9)				85

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

全国学力・学習状況調査の質問項目「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校 95%、中学校 85%を目標値に設定しています。



平成29年度も、小・中学校ともに全国平均値を上回り、特に中学校における伸びが顕著です。「何のために学ぶのか」といった目的意識を持たせる授業の推進が着実に進んでいる成果として、引き続き推進します。

■ ■ ■ 第1章 目指す子どもの姿
 ■ ■ ■ 1 四日市市が進める教育の基本的な考え方

(2)「基本目標2 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成」の達成状況

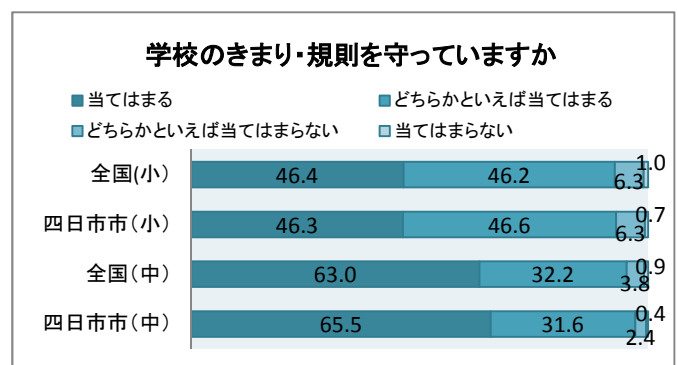
① 自律的に活動する力、規範意識

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
①	「学校のきまり(規則)を守っていますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)	小	91.1 (全国91.1)	91.1 (91.5)	92.9 (92.6)				95
		中	95.3 (全国94.4)	96.5 (94.7)	97.1 (95.2)				97

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生・中学校3年生対象)

全国学力・学習状況調査質問項目「学校のきまり(規則)を守っていますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校95%、中学校97%を目標値に設定しています。

平成29年度は、小学校・中学校ともに全国平均値を上回りました。特に中学校は目標値に届いています。引き続き、日々の学校生活においてルールを守ることの大切さを伝えていく指導を行い、規範意識を高めます。



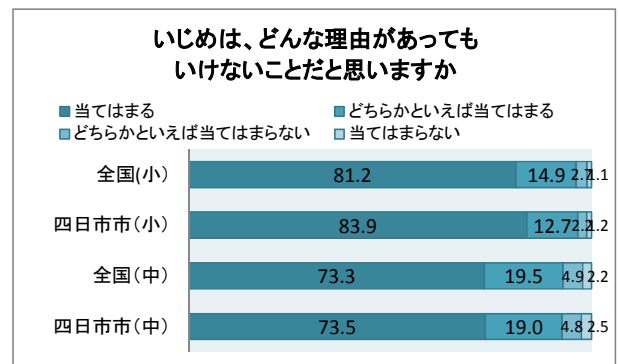
② 豊かな感性、優しさ、思いやり、多様性を尊重し他者と協働しながら創造的に生きる態度

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
②	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」において肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)	小	96.5 (全国96.2)	97.9 (96.6)	96.6 (96.1)				100
		中	93.3 (全国93.7)	93.0 (93.6)	92.5 (92.8)				100

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生・中学校3年生対象)

全国学力・学習状況調査の質問項目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校、中学校とも100%を目標値に設定しています。

平成29年度は、小・中学校ともにほぼ全国平均値なみですが、全国的に低下傾向が見られます。いじめは絶対に許されないことを児童・生徒全員が理解し、学校生活の中で実践できるよう、粘り強く指導していきます。



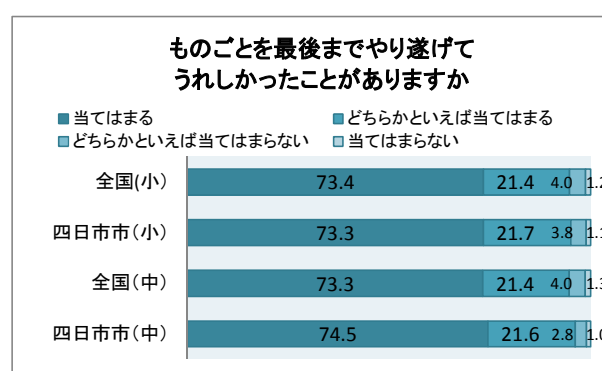
③ ものごとを最後までやり遂げる粘り強さ

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
③	「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)	小	95.0 (全国94.5)	95.8 (94.4)	95.0 (94.8)				100
		中	94.2 (全国94.2)	95.5 (94.3)	96.1 (94.7)				100

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

全国学力・学習状況調査の質問項目「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校、中学校とも100%を目標値に設定しています。

平成29年度も、小・中学校とも全国平均値を上回っています。達成感を得られるような教育活動の機会をおおむね作ることができていると考えられますが、小学校においては昨年度を下回っています。主体的に学習に取り組む姿勢を養うとともに、達成感の感じられる授業づくりを推進します。



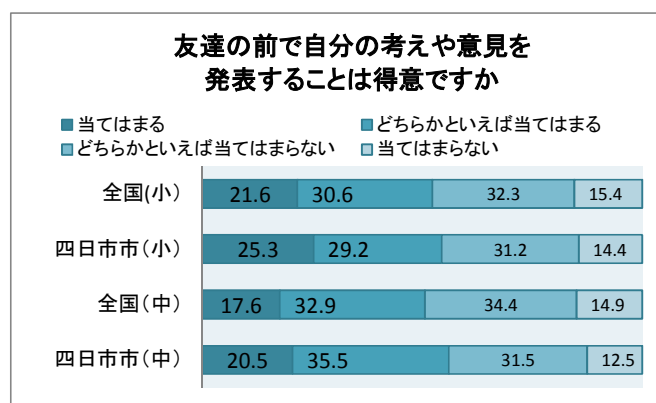
④ 豊かな人間関係を育むためのコミュニケーション能力

成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H32	目標
④	「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)	小	51.0 (全国51.2)	52.2 (51.7)	54.5 (52.2)				60
		中	55.2 (全国49.6)	55.4 (50.2)	56.0 (50.5)				60

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

全国学力・学習状況調査の質問項目「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標とし、小学校、中学校ともに60%を目標値に設定しています。

平成29年度は、目標値の60%には到達していないものの、小・中学校とも前年値と全国平均値を上回り、上昇傾向にあります。本市では読書後や体験活動後の1分間コメント、弁論大会などの機会を設けて、児童生徒の考えや意見を発表する場を増やしており、成果が出ていると考えます。引き続きコミュニケーション能力を育成するさまざまな取り組みを進めていきます。



(3)「基本目標3 健康・体力の向上」の達成状況

① 生涯を通じて心身ともに健康でたくましく生きるための体力

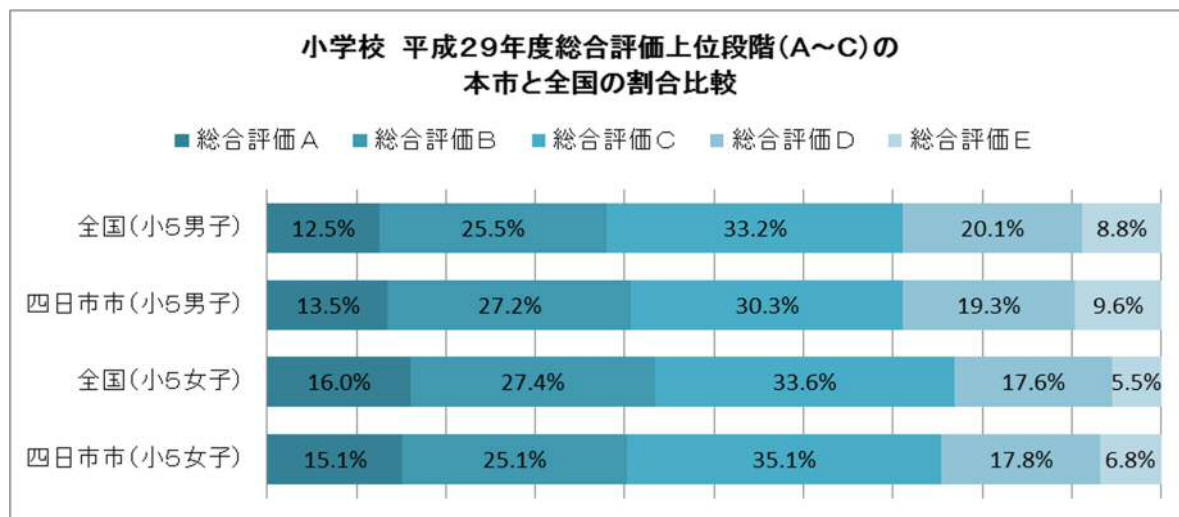
成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H31	目標
①	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査 児童生徒の総合評価 (A～Eの5段階)で 3段階以上(A～C) の児童生徒の割合 (%)	小	男子 66.9 (全国 70.1)	67.4 (70.3)	71.0 (71.2)				75
			女子 70.2 (全国 75.1)	74.0 (76.3)	75.3 (77.0)				75
		中	男子 74.2 (全国 71.1)	72.7 (71.8)	73.0 (71.7)				75
			女子 85.5 (全国 86.6)	89.8 (87.5)	90.2 (88.1)				90

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(小学校6年生・中学校3年生対象)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒の総合評価(A～Eの5段階)で3段階以上(A～C)の児童生徒の割合を指標とし、小学校及び中学校男子において75%を、中学校女子において90%を目標値に設定しています。

○小学校の状況

平成29年度は、小学校男子でA～Cの児童の割合が71.0%(全国比マイナス0.2ポイント)、小学校女子では75.3%(全国比マイナス1.7ポイント)となり、平成28年度よりも全国値との差は小さくなっています。

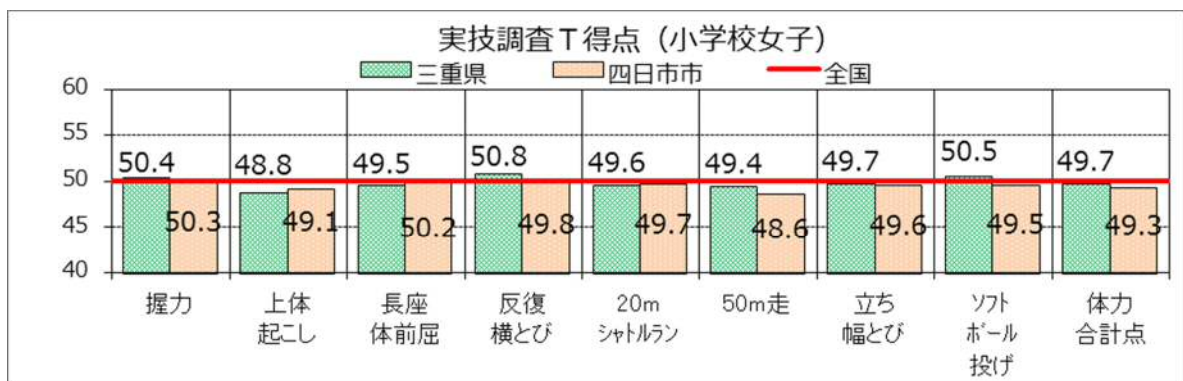
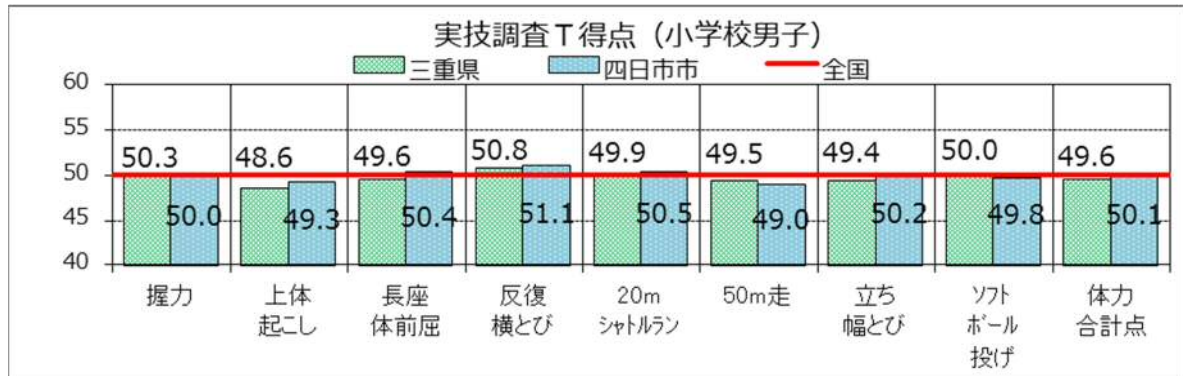


種目別に見ると、昨年度は全国平均値との開きが見られた上体起こしや50m走、立ち幅とびは、差が縮まり、男子の立ち幅とびは全国平均値を超えました。しかし、依然、ソフトボール投げを含めた走・跳・投のいずれの分野においても全国平均値を下回っています。

これらの能力を伸ばすために、各小学校にジャベリックボールを15個ずつ配布し、走・投におけるバランスのよい身体の使い方を学習できるようにしました。体幹や筋持久力を養う運動を授業に取り入れたり、普段の授業で座った姿勢を維持させるよう

■ ■ ■ 第1章 目指す子どもの姿
 ■ ■ ■ 1 四日市市が進める教育の基本的な考え方

な指導をしたりするなど、体育の授業をはじめ様々な機会を活用することが必要です。また、両足で踏み切り、体を反らすといった動きに慣れさせること、「跳びはねる」「跳び越す」などの要素を取り入れた遊びの機会を確保することも必要です。

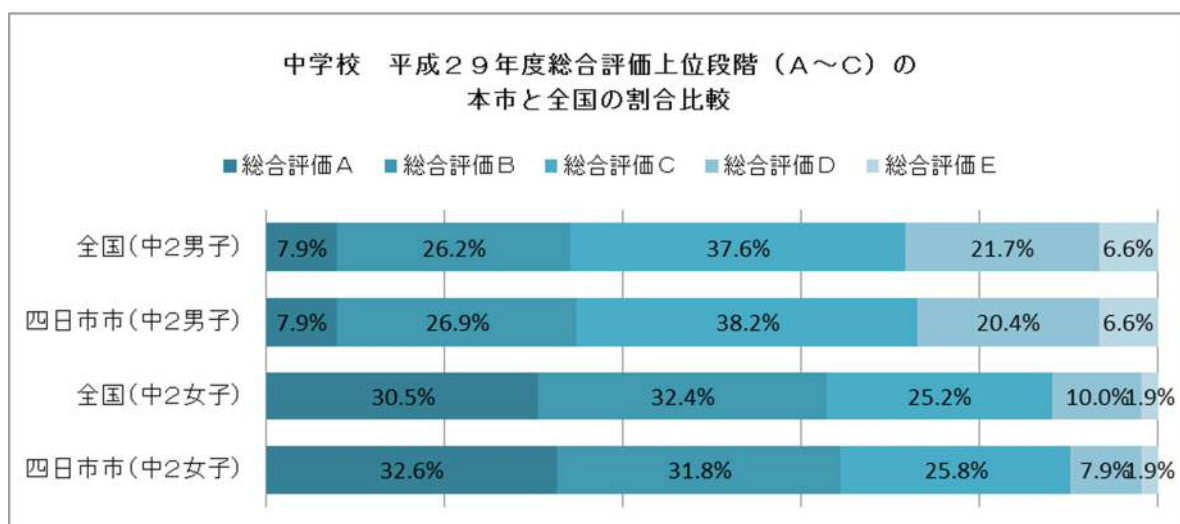


小学校 実技調査種目別の全国・三重県との比較
 ※T得点：全国平均値を50として差を明確に表示したもの

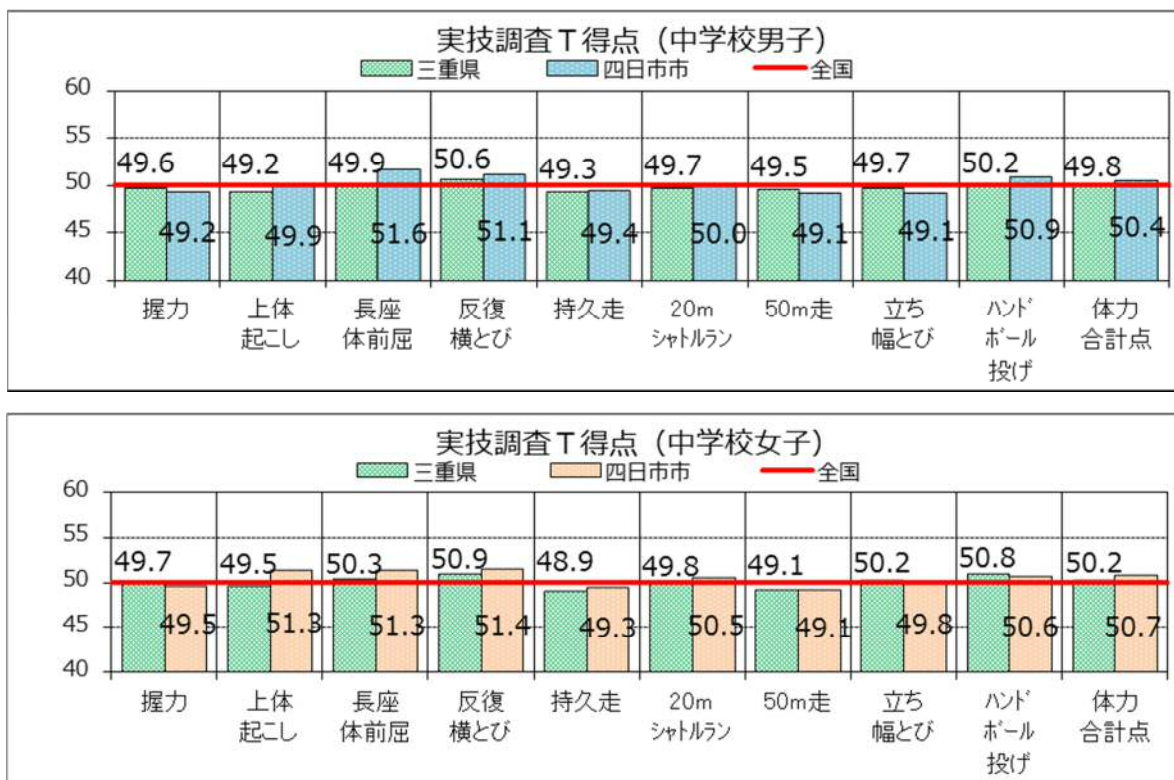
○中学校の状況

男子で総合評価A～Cの生徒の割合は73.0%（全国比プラス1.3ポイント）、女子では90.2%（全国比プラス2.1ポイント）となり、女子は目標値に達しました。

中学校では部活動が始まるため、運動時間が十分に確保されるようになったことが、運動技能向上の要因の一つになっていると考えられます。



第1章 目指す子どもの姿
1 四日市市が進める教育の基本的な考え方



中学校 実技調査種目別の全国・三重県との比較
※ T得点：全国平均値を 50 として差を明確に表示したもの

種目別に見ると、中学校男子で全国平均値を上回っているのは、平成28年度に引き続き、長座体前屈と反復横とび、ハンドボール投げの3種目です。長座体前屈と反復横とびは小・中学校とも全国平均値を上回っており、四日市の子どもが比較的得意とする種目といえます。

一方で50m走は男女ともに苦手な種目と言えます。走力の向上を図るために、各校における授業の工夫に加え、体幹を鍛える運動を取り入れていく方策が必要です。

中学校女子では、握力と50m走、持久走、立ち幅とび、以外は全国を上回る結果となりました。今後も、さらに体力が高まるよう、各校における技能面の指導や運動の場の工夫を行うとともに、男子と同様、走力の向上を図る方策が必要です。

本市では平成29年3月に、小学校における体育の年間カリキュラムの例を示した「四日市版 体育授業ガイドブック」を作成し、各校に配布しました。

今後も、各教員の得手不得手に影響されることなく、学年ごとに段階を経て、体力と運動技術が向上するように工夫していく必要があります。

② 運動やスポーツに親しむ気持ち、発達段階に応じた運動習慣

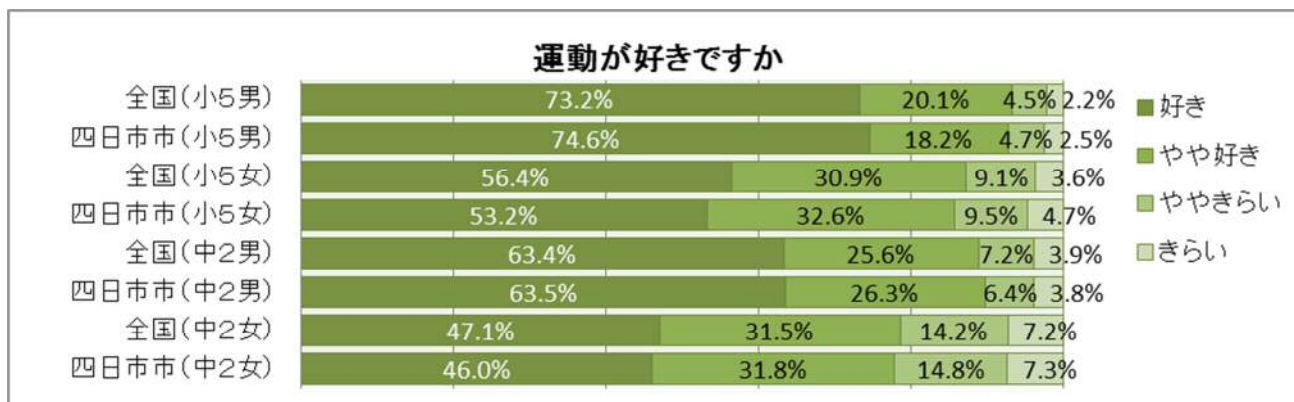
成果指標			現状値*	H28	H29	H30	H31	H31	目標
②	「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」において、「好き」と回答をした児童生徒の割合（%）	小	男子 75.0 (全国 74.0)	71.3 (73.0)	74.6 (73.2)				80
			女子 56.3 (全国 56.4)	54.2 (56.7)	53.2 (56.4)				60
		中	男子 66.3 (全国 65.0)	65.3 (63.6)	63.5 (63.4)				70
			女子 49.3 (全国 48.0)	50.0 (46.9)	46.0 (47.1)				53

※ 現状値は、平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（小学校5年生・中学校2年生対象）

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」において、「好き」と回答をした児童生徒の割合は、小学校男子・女子、中学校男子・女子ともに、ほぼ全国並みの値を示していますが、前年比で見ると、小学校女子で前年比マイナス1.0%、中学校男子でマイナス1.8%、中学校女子でマイナス4.0%など全体的に下方傾向です。

学年が上がるにつれて、運動の内容がより専門的になり、できる・できないが分かれるためだと考えられます。

発達段階に応じた運動習慣を身に付けさせる観点からは、「できた」という達成感を持たせることに加え、学年が上がるに従って、工夫しながら運動をすることの楽しさを味わえるような機会の充実が必要です。

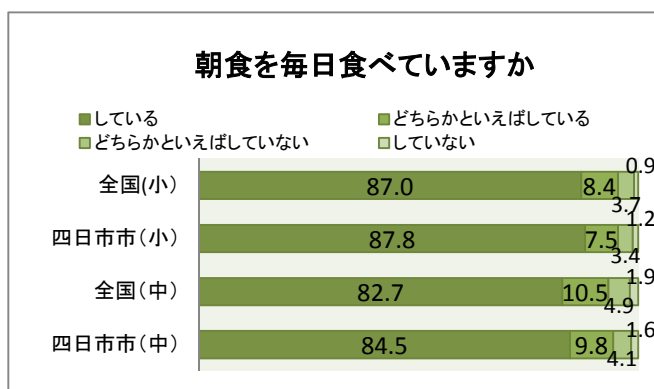


③ 心と体を健やかに育む基本的な生活習慣の確立

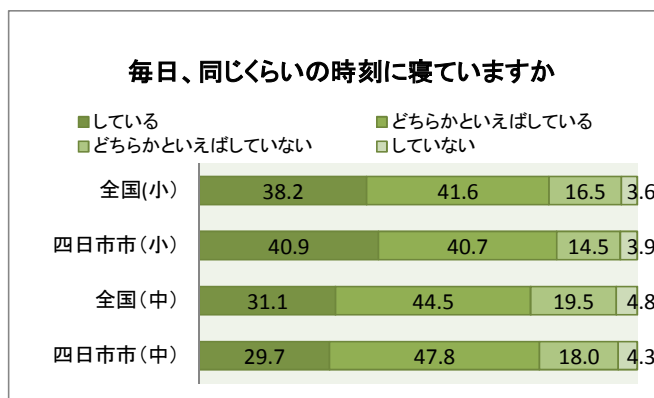
成果指標		現状値*	H28	H29	H30	H31	H31	目標	
③	「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合の平均値 (%)	小	89.2 (全国 88.7)	89.8 (88.8)	89.6 (88.8)				93
	中	86.0 (全国 86.9)	86.8 (86.9)	87.8 (87.1)				90	

※ 現状値は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果（小学校6年生・中学校3年生対象）

全国体力・運動能力、運動習慣等調査質問項目「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」において、肯定的な回答をした児童生徒の割合の平均値を指標とし、小学校において93%、中学校において90%を目標値に設定しています。



本市の子どもたちの傾向として、朝食を毎日食べている割合は全国比と比べて高くなっているものの、毎日同じくらいの時刻に寝起きする生活の規則性では、全国より低い値を示しています。



本市では、リーフレット「四日市市の子どもたちの学力・学習状況や生活状況は？」を全保護者に毎年配付して、生活習慣が一定である児童・生徒ほど学力が高いことを示しています。今後も家庭との連携を図って、生活習慣の確立に向けた啓発を行っていきます。

